

フラッグシップ輸出産地の概要

黒樺牛輸出促進コンソーシアム

輸出  
品目

畜産物  
(牛肉)

|         |                                                                                       |      |            |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------|------|------------|
| 主な輸出先国  | UAE、台湾等(2023年)                                                                        | 輸出実績 | 80t(2023年) |
| 対象となる地域 | 熊本県宇城市・人吉市・球磨郡相良村・あさぎり町・菊池市・菊池郡大津町・上益城郡御船町・葦北郡津奈木町、宮崎県えびの市・小林市、鹿児島県出水市、大分県杵築市・宇佐市・竹田市 |      |            |

輸出産地の概況

- 令和5年1月にコンソーシアムを設立。生産者、食肉処理事業者、輸出事業者の三者が一体となって、主にUAE、台湾、タイ等に黒毛和牛ブランド「黒樺牛」の輸出を行っている。

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- UAE向け輸出認可を令和3年に取得。ハラール認証団体の指導を受け、頭蓋（とうがい）の破損や血斑の発生状況をみながらと畜を実施。
- 国際衛生認証FSSC22000を取得したと畜場及び食肉処理工場の衛生管理体制は輸出先の大手商社から高い評価を得ている。

アピールポイント

- 当コンソーシアムの特徴は、「繁殖から肥育、加工までの一貫生産」「安定供給」「国際衛生ライセンスのFSSC22000を取得」していることである。



令和5年（2023年）6月に開催された「フード台北」の開会式



黒樺牛ブースは関心が高く、来客・商談ともに活況



令和6年（2024年）4月に台湾のパートナー商社が傘下のレストランシェフ向けに開催したセミナーにて、弊社スタッフがカット技術の講習及び実演を行い、高い評価が得られた。